

第2回港湾局外郭団体のあり方に関する検討会議 意見一覧

【大谷委員からの意見】

博多港開発（株）の事業収支を見て埋立て事業がいかに大きな柱だったことかがうかがえ、現在のその他の事業だけではとうてい将来の見通しが立たないことが理解できた。今後の博多港開発（株）について、その特徴を生かせる可能性が考えられる事業分野（P88）6項目に付け加えるならば、「市民へのサービス提供」がある。

人流の活発なエリアを形づくるべき中央ふ頭、博多ふ頭は、現在残念なことに市民の賑わいにはほど遠く、ウィークデーは閑散として淋しい。ベイサイドプレイスや、クルーズセンター周辺の賑わいを日常化するのに、行政が直接実施することはなかなか難しく又長い期間を要するが、博多港開発（株）は、その特徴を生かして比較的短い期間でハード・ソフト両面で商業施設等のエリア開発を手がけることができる。

そこで、港湾局の外郭団体である博多港開発（株）が、公共性・公益性の観点から社会貢献の一助としての「市民へのサービス提供」を人流・賑わいエリアで実施することに異存はないだろう。

東区地域住民・高齢者・子ども・障害のある人等すべての市民を対象に体力づくりのお手伝いとして「健康・スポーツターミナル」の建設・運営管理はNPO法人等との協働で、より細やかなサービスの提供を実施できる。その中にはボランティア活動で支える市民が存在することも忘れてはならない大きな柱である。又、現在、海外から博多港に寄港するクルーズ船で来日する大ぜいのクルーたちへのサービスが充分でないことも併せて「観光客関連へのサービス提供」業務も含んで実施できる。

【安河内委員からの意見】

今後の博多港の開発にとって、どのような機能が必要なかを明確にすることによって、博多港開発（株）の存続が必要かどうかが決まっていくように思う。「港湾計画」などをお伺いした限りでは、すでに、開発の方向が一定程度、決まっているようにも感じる。

その開発の方向において必要な機能を、一つ一つ明らかにしていくことが必要であるように思う。

つまり、今後の博多港の開発を考える時、必要な機能は何か、それらを、博多港開発（株）しか担えない（あるいは、博多港開発（株）が担うのが最適）機能は何か、福岡市が直接行える（行ったほうが良い）機能は何か、民間が担当する（できる）機能は何か、それらを明らかにし、振り分けていくことが重要ではないかと思う。